



医療と連携した指導・支援に取り組んでいます

本校では、年に3～4回程度、ST（言語聴覚士）、PT（理学療法士）、OT（作業療法士）の先生をお招きし、校内を巡回して児童生徒の指導について助言をいただいたり、教職員向けに講義をしていただいたりしています。また、医療機関を訪問してリハビリの様子を見学させていただき、学校での活動や様子をお伝えしたり、リハビリの取組を私たちの指導の参考にさせていただいたりしています。

今回は、ST（言語聴覚士）の先生による研修と、リハビリ見学について紹介をします。



「摂食・嚥下支援のコツ」 ～ ST（言語聴覚士）の先生による巡回指導・講義 ～

岡山大学病院総合リハビリテーション部から ST（言語聴覚士）の先生をお招きして、講義を受けました。誤嚥と誤飲の違いって？嚥下運動ってどのように行われているの？等、肢体不自由部門と知的障害部門のどちらの特徴も確認しながら説明していただきました。窒息時の対応についても改めて教えていただき、学び直すことができました。

また、本校の児童生徒の様子を撮影した映像を見ながら、どのような課題があり、どのように対応すると安全に摂食できるかを説明していただきました。今後の給食指導や摂食介助に役立てたいと思います。



「リハビリ見学」

本校では、主に肢体不自由部門の各学部1年生を対象として、学校と医療の連携を図るために児童生徒のリハビリ見学を行っています。見学先は、旭川荘・療育医療センターをはじめ、岡山大学や訪問看護ステーション、矯正歯科医院等、様々な医療機関に渡ります。

今年度も、夏休み中に約20名の児童生徒のリハビリ見学を行いました。児童生徒のリハビリにおける目標や指導内容・方法を教えていただいたり、事前に送付した、日頃の学習活動や学校生活の中で気になっていることについての質問票をもとに助言をいただいたりしました。学校での指導や支援にあたり、大変参考となりました。



スクールカウンセリング 当面の予定



11月19日(火)午前、12月17日(火)午前

※やむなく、日時が変更になる場合があります。

※ご希望の方は、お早めに連絡帳や電話等でお知らせください。

※ご希望日時が重なった場合は、調整をさせていただきます。ご理解・ご協力の程よろしく
お願い致します。